

2016 年 11 月 15 日

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2016 年度（自 2015 年 10 月 1 日 至 2016 年 9 月 30 日）第 2 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2016 年 9 月 14 日（水） 15：00～18：00

☐開催場所 ステーションコンファレンス東京 605 BC

☐理事総数 20 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 16 名

☐出席監事数 3 名

☐出席理事の氏名

渡邊昌彦（理事長）、明楽重夫、猪股雅史、岩崎昭憲、岩中 督、小澤壯治、黒川良望、坂井義治、塩田 充、寺地敏郎、徳村弘実、松田公志、森 俊幸、森川利昭、若林 剛、渡邊聡明

☐出席監事の氏名

万代恭嗣、松本純夫、山下裕一

☐出席名誉理事長の氏名

北島政樹

☐議長の氏名

渡邊昌彦

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、渡邊昌彦理事長より開会が宣され、その後、議事に入った。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会報告

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（渡邊昌彦編集主幹）

・編集委員の構成について改めて説明がなされた。

・投稿状況が報告された。

- ・採用率が30%を切っている状況が報告され、本数を増やすなど、より採用率をあげていく工夫が必要である旨が述べられた。
- ・投稿規程の変更について、従来は図表も含め紙原稿のみの送付であったが、紙原稿と電子媒体（CD-R、USBなど）を送付する事となった点が報告された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery

（北野正剛編集主幹欠席のため渡邊昌彦編集主幹より代理報告）

- ・活動報告がなされた。
- ・2016年6月の投稿数が過去最高である旨が説明され、2016年1月～7月までの投稿数の平均がすでに2014年の投稿数の平均に達している点が報告された。
- ・採択率は昨年から43%と下がっている点が報告された。
- ・国別投稿数について、日本に次いでインドが2番目である点が報告された。
- ・ASES引用状況報告がなされ、理事のさらなる文献引用のお願いがなされた。
- ・学術委員会で2年に1度行っているアンケート調査の結果も掲載することで、ASES引用が増えるという意見があり、学術委員会で検討することとなった。

2) 総務委員会報告（若林剛委員長）

- ・庶務報告 会員数13,107名（2016年8月31日現在）
- ・未納督促者について報告がなされ、特に住所不明の会員について知り合いの先生がいる場合には連絡を取るようお願いがなされた。

3) 教育委員会報告（黒川良望委員長）

- ・公認研究会（眼科内視鏡研究会）について承認はしたが詳細が不明瞭のため引き続き調査し、次回の理事会で報告する点が説明された。
- ・新たに認定された後援講習会のリストが確認された。
- ・教育セミナー（第29回総会時）の内容が報告された。
- ・2016年7月に「内視鏡下縫合・結紮手技トレーニング（DVD付）」が発刊された旨の報告がなされた。
- ・用語集ページのHP掲載状況について、寺地理事よりすでに掲載している旨の報告がなされた。黒川委員長より、どこに掲載しているか分かりやすくするよう要請がなされた。
- ・第29回総会時の教育セミナーについては「事前登録」を活用する予定がある旨、渡邊昌彦第29回総会会長から説明がなされた。

4) 学術委員会報告（猪股雅史委員長）

- ・第13回内視鏡外科手術に関するアンケート調査について進捗報告がなされた。前回とほぼ同等の46.6%のアンケート回答率であり、予定通り各領域に関する調査結果の集計作業がすすんでいる旨が報告された。また本アンケート結果は、第29回総会時に報告し、学会雑誌（11月号）および学会ホームページに掲載する点が説明された。
- ・「第17回消化器外科データベース関連学会協議会」、「第1回NCD特定術式データ品質管理協議会」について学術委員会委員長として出席した旨が報告された。
- ・2013年度～2015年度NCDデータ利用研究課題についての進捗状況が報告された。
- ・全国アンケート調査とNCDデータ利用について、双方向での相乗効果が得られるよう今後も

検討していく旨の説明がなされた。

5) 保険委員会報告（森俊幸委員長）

- ・小西文雄アドバイザーの退任について報告された。
- ・8月30日開催の保険委員会について報告がなされ、保険委員会委員のみではなく、ロボット支援手術検討委員会、外保連関連の委員も参加のうえ開催された点が説明された。保険委員会として、胃悪性腫瘍・食道悪性腫瘍・肺悪性腫瘍・直腸悪性腫瘍について、外保連試案に載せる方向で準備を進めている点が報告された。JSESが主学会となるかどうかについては他学会と調整中である点が説明され、実務については、胃（宇山一朗先生）、食道（能城浩和先生・瀬戸泰之先生）、直腸（絹笠祐介先生・花井恒一先生）に依頼する方針で確認された点が報告された。

6) ロボット支援手術検討委員会（橋爪誠担当理事が欠席のため松本純夫監事より代理報告）

- ・保険委員会の報告を受け、ロボット支援手術検討委員会でも、厚生労働省に確認したところ、先進医療Bだけではなく外保連でも申請すべきとの意見があがった点の説明がなされ、今後はJSESと各学会の担当者とともに調整をした方がよいとの意見が述べられた。
- ・保険収載をするためには、先進医療B申請の方針にかかわらず、外保連試案の手術試案には載せる必要がある点が岩中理事より説明がなされた。また、外保連の手術委員会で外保連試案に載せた試案の承認をスムーズに得るためには、主学会と他学会間でロボット手術支援の在り方などのコンセンサスを統一しておく必要がある点についても補足説明がなされた。
- ・森保険委員長から、各学会のロボット支援手術に関する委員会担当者で集まり議論するのが良いのではないかという意見が述べられた。ロボット支援手術検討委員会で方針をまとめ、保険委員会の承認をもって外保連登録へと流れを進めるべきとの意見も述べられた。
- ・直腸悪性腫瘍については先進医療Bおよび外保連試案の両方から保険収載を目指すという方針が確認された。
- ・渡邊理事長より、ロボット支援手術検討委員会が中心となり各学会へ声をかけ外保連に手術試案を出す方針を決定し、並行で厚生労働省とも議論をし、最終的には保険委員会がまとめて外保連へ試案を提出する、という流れが望ましいとの意見が出され、承認された。

7) ガイドライン委員会報告（渡邊聡明委員長）

- ・田中敏明委員の新就任について報告がなされた。
- ・ガイドライン2014年版のHP掲載について、産科婦人科学会分の掲載が2016年6月掲載と遅れた点が報告され、本反省を踏まえ今後の事務局の体制についてガイドライン委員会の対応を1名体制から3名体制にする点が説明された。また、胆道領域のガイドライン英文化について、2016年11月のAsian Journalで掲載予定である点が報告された。

8) 広報委員会報告（出沢明委員長が欠席のため岩中理事より代理報告）

- ・NewsLetter 23号の発行およびNewsLetter 24号の執筆内容について報告がなされた。
- ・学会HPのトップページ写真が変更された点について報告がなされた。

9) 第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・医療事故調査制度に協力したことが報告された。

10) 倫理・渉外委員会報告（明楽重夫委員長）

- ・渡邊理事長の代理として「第2回研究倫理教育研修会」に参加した点が報告された。

11) 技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・泌尿器科領域・産科婦人科領域・整形外科領域の新規申請者および更新申請者が報告され、承認された。
- ・消化器・一般外科領域の1年延期申請について報告がなされ、承認された。
- ・技術審査委員会委員の65歳定年制および臓器別審査についての議論を2016年10月14日の技術認定制度委員会にて進める予定である点が報告された。臓器別審査については、技術認定制度委員会で審議をしたのち、最終的には技術審査委員会（消化器・一般外科領域）の承認を取る必要がある点について説明がなされた。

12) COI委員会報告（森川利昭委員長）

- ・前回の理事会で松田公志第28回総会会長より、共催セミナーでのCOI事項の開示について、講演内容の科学性・中立性を担保するために現行から改訂していく必要性が示された点が報告された。改訂版として、「開示すべき基準に達している」という表現を加えた点、開示すべき基準の詳細を2枚目のスライドに提示した点についての説明がなされ、承認を得た。
- ・若手医師の場合、学会での演題発表時に「利益相反無し」としていても実は研究室の教授の奨学寄付金による研究の場合も有り、そのような事例にどのように対応するのかについて渡邊理事長より問われ、COI委員会で検討することとなった。

13) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・柏野聡彦委員の退任の報告がなされた。
- ・4月に開催された医工学連携委員会、拡大委員会、月に一度開催されている医工連携企画コアミーティングについて報告された。
- ・委員会報告として、委員が増えた事により、メンバーを小委員会に分け業務の分担を行った点が報告された。
- ・実際に製品化されて流通したもののうち、優れたものを表彰することを現在検討中である旨が報告された。
- ・第29回総会中の学術プログラムとして、医工学連携のジョイントシンポジウムおよび日本コンピュータ外科学会とのジョイントセッションについての開催予定の報告がなされた。
- ・学会HP内に医工学連携に関するコーナーのページを作成した点が報告された。
- ・第28回総会の医工連携企画に関する会計報告がなされた。

14) メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・メディカルスタッフマニュアルの改訂版を2017年末頃に発行予定であること、改訂内容を検討中であることが報告された。

15) E ラーニング委員会報告（池田徳彦委員長欠席）

- ・報告事項なし

16) 規約委員会報告（徳村弘実委員長）

- ・6月に規約委員会・将来構想委員会・評議員選考委員会合同委員会が開催され、評議員の在り方・選出や理事・監事の選出について等、様々な議論がなされた点が報告された。
- ・評議員選考委員会で評議員数のシミュレーションを行った結果、2016年度から選考規程を厳しくしたことから上限に達するのが少し先に延び、8年後に会員数の1割に達する予定である点が報告された。
- ・評議員の在り方については、評議員申請へのモチベーションがあまり高くないのではないかととの意見が交わされ、技術認定制度とのリンクなど検討しても良いのではないかととの意見も出た点が報告された。
- ・評議員選考方法について、選挙制を押す意見も出たが、選挙制の複雑さ、複数の領域が絡んだ横断的な学会であることから現時点での選挙制への移行は難しいとの意見が多かった点が報告された。
- ・理事・監事の選出について、明確な意見としての結論は出なかったが、他学会との比較を考えた場合、役員選考制度を持つ必要性についても考える時期にきているのではないかととの意見が出され、検討していくこととなった。
- ・渡邊理事長より希望がでている理事増員について、合同委員会では満場一致で賛同が得られ定款を変更する予定である旨が報告された（詳細は審議事項参照）。これを受け、渡邊理事長より他科領域との不均衡のバランスを調整する点の重要性について説明がなされた。

17) 将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・今後の評議員選考方法について議論していくためのワーキンググループを構成する旨が報告された。ワーキンググループの構成としては、規約委員会・将来構想委員会・評議員選考委員会から各2〜3名ずつで構成し、2年程度をかけて議論を深めていく予定である点が説明された。

18) 専門医制度検討委員会報告（北川雄光委員長欠席）

- ・報告事項なし

19) 第29回総会 準備報告（隈元雄介事務局長）

- ・関連行事に関して、理事会、社員総会、教育セミナーなどの日程が報告された。また、10月上旬に公募演題採択通知を行う点が報告された。
- ・プログラムに関して現在確定している状況が報告された。演題登録数が多いことから電子ボスターの演題数を増加した点などの説明がなされた。

20) 第30回総会 準備報告（坂井義治次期会長）

- ・プログラムに関するアンケートの協力に関し感謝の意が表された。

21) 第 31 回総会 準備報告 (岩崎昭憲次々期会長)

- ・前回から更新している事項として、12月5日に理事会が開催される点が報告された。

22) 日本医学会等報告 (渡邊昌彦理事長)

- ・日本医学会連合の第1回理事会、平成28年度定時総会開催について報告がなされた。
- ・会費徴収の件について例年通りの徴収額で日本医学会へ支払いを済ませた点が報告された。
- ・日本医療研究開発機構 (AMED) 「8K 等高精細映像データ利活用研究事業」について JSES として協力を行った点が報告された。
- ・【「医学研究等における個人情報の取扱い等に関する合同会議」への要望】が通知されたことに対し、継続して対応を検討する事が説明された。

3. 審議事項

1) 総務委員会 (若林剛委員長)

- ・2016年特別会員推戴者について報告がなされ、承認された。

2) 国際委員会 (坂井義治委員長)

- ・2017年度国際名誉会員選考について報告がなされ、承認された。
- ・EAES Block Membership について報告がなされた。会員数によって会費が割引になる本制度の利用が提案され、承認された。すでに50名は日本のメンバーとして超えており、残り50名程度の会員が見込めると望ましい点も説明された。
- ・今後のスケジュールとして、11月までに会員を募り11月末までに振り込みが完了しているのが望ましいとの説明がなされ、本学会会員に EAES Block Membership 入会を促す案内を一斉配信する点が確認された。
- ・SAGES 2017 JSES/SAGES Joint Panel のセッション構成について報告がなされ、承認された。
- ・山本学委員が SAGES Board of Director に選出された点が報告された。

3) 評議員選考委員会 (塩田充委員長)

- ・8月23日に開催された評議員選考委員会の報告がなされ、選考資格について昨年度から変更された点の説明がなされた。
- ・2016年度の選考結果について、63名の応募のうち15名については業績不十分との判定がなされた点が報告され、別紙のとおり48名の合格者について承認された。
- ・評議員の資格失効に関し、定款に記載のある「社員総会を3回連続して欠席した場合、評議員の資格を失効する」点について、厳密に2013~2015年度に3回連続で社員総会を欠席している評議員(83名)を失効させるかについて議論がなされた。定款で明記されており、評議員へも周知している点を鑑み、厳密に資格失効とする旨承認された。
- ・現状、総会参加については紙ベースで管理しているため、今後はデジタルで参加状況を管理していく点も考慮したほうが良いのではないかという意見が述べられた。

4) 大上賞選考委員会 (渡邊昌彦委員長)

- ・金山博臣委員の新就任について報告された。

- ・第9回（2016年度）大上賞について，虎の門病院呼吸器センター外科の河野匡先生の受賞が承認された。

5) 出月賞選考委員会（森俊幸委員長）

- ・第19回（2016年度）出月賞について，盛岡市立病院外科の須藤隆之先生の受賞が承認された。
- ・対象論文の投稿条件として，前向きなRCTの基準を編集委員会でより詳細に管理していく事が望ましいとの意見が述べられた。

6) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・第28回学術集会収支決算書について報告がなされ，承認された。
- ・2017年度の予算案について報告がなされ，承認された。
- ・第28回学術集会余剰金計算式について報告がなされ，確認された。
- ・寄附金の振込においては，口座名に関西医科大学の名称が含まれている点が税務上重要である旨，第27回総会会長の山下裕一監事より補足説明がなされた。

7) 規約委員会（徳村弘実委員長）

- ・理事の増員計画を受け，理事を「15名以上20名以内」から，「20名以上25名以内」と定款を改定する点が審議され，承認された。

8) 研修医と外国人の演題登録条件の緩和について

- ・第30回総会以降は，研修医・外国人が演題登録をする際は会員である事を必須としない点を学会としての方針とするかについて審議され，承認された。これをうけ，第30回総会時には募集要項にその点を盛り込む点について確認された。

9) 理事・監事の交代について

- ・2016年12月の社員総会時に交代する理事・監事について以下のとおり確認された。

松本純夫監事・馬場志郎監事：退任

松田公志理事：退任

黒川良望理事：退任

岩中督理事：退任希望

寺地敏郎理事：退任希望

以上

(別紙)

飯田 義人 (順天堂大学付属浦安病院外科)	高橋 広城 (名古屋市立大学消化器外科)
石沢 武彰 (公益財団法人がん研究会有明病院)	武田 裕 (独立行政法人労働者健康安全機構関西労災病院)
市川 雅男 (日本医科大学付属病院)	田島 義証 (島根大学医学部消化器・総合外科)
井上 幹大 (三重大学消化管・小児外科)	田中 千恵 (名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学講座)
臼井 正信 (三重大学医学部肝胆膵・移植外科)	都志見 貴明 (山口県済生会下関総合病院)
内田 博喜 (大分大学医学部附属病院消化器・小児外科)	土田 明彦 (東京医科大学消化器・小児外科学分野)
梅邑 晃 (岩手医科大学外科)	堤 敬文 (松山赤十字病院外科)
茅野 新 (東海大学医学部付属八王子病院消化器外科)	飛梅 孝子 (近畿大学医学部産科婦人科学教室)
河村祐一郎 (小倉記念病院外科)	富澤 直樹 (前橋赤十字病院消化器病センター外科)
北薊 巖 (鹿児島大学病院心臓血管・消化器外科学(旧第二外科))	永川 裕一 (東京医科大学消化器・小児外科学分野)
北村 大介 (太田総合病院外科)	長寄 寿矢 (がん研有明病院)
木下 秀文 (関西医科大学腎泌尿器外科)	中瀬 有遠 (市立奈良病院)
黒田 浩章 (愛知県がんセンター中央病院呼吸器外科)	永田 淳 (産業医科大学若松病院)
高 賢樹 (相澤病院)	橋本 佳和 (杏林大学医学部外科(消化器・一般))
河野 悟 (医療法人伯鳳会白鬚橋病院)	原 義明 (昭和大学横浜市北部病院消化器センター)
後藤田直人 (国立がん研究センター東病院)	平井 恭二 (日本医科大学千葉北総病院呼吸器外科)
佐藤 好信 (昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科)	平下 禎二郎 (大分大学医学部地域医療学センター)
澤田 成彦 (昭和大学横浜市北部病院消化器センター)	平松 良浩 (浜松医科大学)
島田 雅也 (福井県済生会病院)	藤田 恒憲 (兵庫県立柏原病院)
鈴木 温 (医療法人菊郷会愛育病院外科)	細木 久裕 (京都大学医学部附属病院)
須藤 隆之 (盛岡市立病院)	松田 明久 (日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科)
諏訪 勝仁 (東京慈恵会医科大学附属第三病院外科)	松田 健司 (和歌山県立医科大学・第2外科)
関 英一郎 (愛仁会太田総合病院外科)	真鍋 達也 (九州大学医学部臨床・腫瘍外科)
園田 寛道 (滋賀医科大学消化器外科)	早稻田龍一 (福岡大学呼吸器・乳腺内分泌・小児外科)

2016 年度技術認定（泌尿器腹腔鏡）合格者

青木 克徳（村上記念病院）	柴崎 昇（洛和会音羽病院）
秋武 正和（九州大学病院泌尿器科）	澁谷 忠正（大分大学医学部附属病院）
東 浩司（済生会松山病院）	清家 健作（岐阜市民病院）
阿部 英行（獨協医科大学）	高田 亮（岩手医科大学泌尿器科）
安楽 力（新潟大学医歯学総合病院泌尿器科）	立川 隆光（鎌ヶ谷総合病院）
石井 智彦（石巻赤十字病院泌尿器科）	田中 宣道（奈良県立医科大学泌尿器科）
磯山 直仁（山口大学泌尿器科）	玉木 正義（岐阜市民病院）
板橋 淑裕（東邦大学医療センター大森病院）	千葉 量人（横浜労災病院）
上井 崇智（桐生厚生総合病院）	鶴田 勝久（中京病院）
植月 祐次（うえつきクリニック）	東武 昇平（佐賀大学附属病院）
内海 孝信（東邦大学医療センター佐倉病院）	常盤 傑（公益財団法人ときわ会常磐病院）
大槻 英男（我孫子東邦病院）	中沢 昌樹（伊那中央病院）
大野 博文（松江赤十字病院）	中澤 龍斗（聖マリアンナ医科大学病院）
大場 健史（兵庫県立加古川医療センター）	成松 隆弘（獨協医科大学泌尿器科）
岡本 亘平（桐生厚生総合病院）	西田 隼人（山形大学医学部附属病院）
奥野 優人（関西労災病院）	西原千香子（大阪市立十三市民病院）
小倉 友二（愛知県がんセンター中央病院）	林 達郎（日本医科大学付属病院）
小田 眞平（小田ひ尿器科）	原 秀彦（杏林大学病院泌尿器科）
上村 吉穂（市立砺波総合病院）	日高 英雄（鹿児島市立病院）
河嶋 厚成（大阪大学大学院医学系研究科泌尿器科）	兵頭 洋二（東邦大学医療センター大森病院）
川島 洋平（太田西ノ内病院）	深谷 孝介（藤田保健衛生大学）
北村 寛（富山大学大学院医学薬学研究部腎泌尿器科学講座）	細川 忠宣（四国がんセンター）
木村 亨（JCHO中京病院）	増栄 孝子（ますえクリニック）
吉良 聡（山梨大学医学部付属病院泌尿器科）	増田 均（公益財団法人がん研究会有明病院）
金 伯士（東海大学医学部付属病院泌尿器科）	松本 成史（旭川医科大学病院臨床研究支援センター）
黒木 慶和（府中病院泌尿器科）	丸 晋太郎（仁榆会病院）
古賀 実（箕面市立病院）	三島 崇生（関西医科大学附属病院）
小林 博仁（海老名総合病院）	三宅 牧人（奈良県立医科大学付属病院泌尿器科）
駒井 資弘（関西医科大学附属病院）	三好 邦和（原三信病院）
櫻井 俊彦（山形大学医学部腎泌尿器外科学講座）	山内 敦（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター）
佐々木 真（国保旭中央病院）	山田 雄太（東京大学医学部附属病院）
佐藤 俊介（宮崎大学医学部附属病院）	吉野 干城（島根県立中央病院）
塩田 真己（九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野）	米澤 智一（今給黎総合病院）
重原 一慶（金沢大学附属病院泌尿器科）	

2016 年度技術認定（泌尿器腹腔鏡）更新者

青木 重之（可児とうのう病院）	田丁 貴俊（松山赤十字病院泌尿器科）
荒木 元朗（岡山大学泌尿器科）	田中 国晃（刈谷豊田総合病院）
安藤 亮介（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）	谷口 光宏（岐阜県総合医療センター）
石井 大輔（北里大学医学部泌尿器科）	戸澤 啓一（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）
伊藤 敬一（防衛医科大学校泌尿器科学講座）	富山 裕介（高島平中央総合病院）
猪口 淳一（九州大学病院泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科）	仲村 和芳（千葉大学病院泌尿器科）
小野 隆征（済生会中和病院）	西 盛宏（北里大学医学部泌尿器科）
柿崎 秀宏（旭川医科大学腎泌尿器外科）	西田 幸代（NTT東日本札幌病院）
加藤 成一（大垣市民病院）	野崎 大司（順天堂大学医学部附属浦安病院泌尿器科）
河合 憲康（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）	野宮 明（社会福祉法人三井記念病院）
工藤 真哉（そらまめ腎・泌尿器科クリニック）	稗田 圭介（広島大学病院腎泌尿器科）
桑原 朋広（市立熊本市市民病院）	福田 護（上尾中央総合病院泌尿器科）
小林 皇（札幌医科大学医学部泌尿器科学講座）	福原 浩（東京大学医学部附属病院）
佐古 智子（岡山赤十字病院）	藤田 和彦（順天堂大学医学部附属静岡病院泌尿器科）
佐々木 裕（東京慈恵会医科大学泌尿器科）	丸山 聡（JA寛島総合病院）
志賀 淑之（NTT東日本関東病院泌尿器科）	宮城 徹（石川県立中央病院泌尿器科）
白石 晃司（山口大学医学部泌尿器科）	安井 孝周（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）
神明 俊輔（広島大学病院腎泌尿器科）	山下 英之（北里研究所病院）
曾我倫久人（愛知県がんセンター中央病院）	山本 秀和（福井県済生会病院泌尿器科）

2016 年度技術認定（産科婦人科）合格者

秋野 亮介（昭和大学横浜市北部病院）	田邊康次郎（仙台市立病院）
井浦 文香（神奈川県立がんセンター）	都築陽欧子（順天堂大学医学部附属浦安病院）
市川 英俊（旭川医科大学）	寺尾 泰久（順天堂大学）
上田 和（東京慈恵会医科大学附属病院）	永井 康一（国立病院機構横浜医療センター）
宇津 裕章（聖隷三方原病院）	長島 稔（がん研有明病院）
岡本三四郎（がん研究会有明病院婦人科）	新納恵美子（奈良県立医科大学附属病院）
古俣 大（長岡中央総合病院）	西山 紘子（東京都済生会中央病院）
呉屋 憲一（医療法人財団荻窪病院）	二宮 委美（稲城市立病院）
塩路 光徳（市立豊中病院産婦人科）	長谷川亜希子（浜田病院）
杉山 将樹（水戸赤十字病院）	細井 文子（堺市立総合医療センター）
鈴木 幸雄（横浜市立大学附属病院）	堀江 昭史（京都大学医学部附属病院）
関根 仁樹（日本医科大学付属病院女性診療科・産科）	三谷 龍史（徳島県立中央病院産婦人科）
高野 浩邦（東京慈恵会医科大学附属柏病院産婦人科）	宮武 崇（大阪警察病院）
高橋 顕雅（市立長浜病院）	三好 愛（市立貝塚病院）
高矢 寿光（近畿大学医学部附属病院産婦人科）	森 正彦（愛知県がんセンター中央病院）
高山 敬範（日本生命済生会付属日生病院）	山中 章義（滋賀医科大学産科学婦人科学講座）

渡辺 正洋（大阪労災病院）

渡邊 行朗（札幌東豊病院）

2016 年度技術認定（産科婦人科）更新者

石川 博士（千葉大学医学部付属病院）

田中 智人（大阪医科大学産婦人科）

梅本 雅彦（吹田徳洲会病院産婦人科）

林 子耕（社会保険紀南病院）

葛西剛一郎（八戸市立市民病院）

久 毅（がん研有明病院）

勢多真理子（河北総合病院）

逸見 博文（国家公務員共済組合連合会斗南病院）

2016 年度技術認定（整形外科）合格者

沼野 藤希（横浜市立みなと赤十字病院）

2016 年度技術認定（整形外科）更新者

佐藤 公昭（久留米大学医学部整形外科）